



新潟事務所
〒950-0902 新潟市中央区南万代町12-5 黒井ビル1F
TEL025-244-1173 FAX025-244-1183
国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館404号室
TEL03-3508-7614 FAX03-3508-3994

予算委員会で政府を追求 すべては一人ひとりの 生活と希望のために



NHK中継の予算委員会で質疑

統計不正… 民主主義の土台を守る

厚生労働省が基幹統計として調査・公表している毎月勤労統計の調査方法が変更され、昨年1月から実質賃金が対前年比プラスと公表されています。私の質問に対して大臣は、実際にはマイナスであると認め、衆議院調査局による調査によってもマイナスと認定されたものの、今なお厚労省は正確な数字を公表していません。公文書の偽造にとどまらず、統計にまで政治の手が入ってしまいました。統計を過せば国を過つ。歴史の教訓です。真実を歪めることなくありのままに伝えることを、引き続き政権に求めます。

児童虐待防止法を与野党で修正、成立

年間60~70人の子どもたちが児童虐待によって命を落としています。私は昨年、今年と、児童虐待防止法等改正案を他の野党と共同で提出しました。ようやく政府与党も野党案の良いところを認め、私が窓口となって修正協議を行い、私たちが求めてきた子どもの意見表明、DV被害と児童虐待の案件共有、引越した際の情報共有強化などをそっくり盛り込む形で修正合意し、全会一致で成立しました。国会は議論して合意形成をめざす場です。久しぶりに野党案から良いところが取り入れられたという好事例になりました。



議員立法提出で本会議登壇

2時間6分の本会議討論 数の力とたたかう

私は、質疑する過程で政府の見解を明らかにしたり、附帯決議を付すなどして、政府提出法案の約8割に賛成してきました。しかしこのところ、日本の資産を外国の民間資本が取得できるようにしたり、政権に近い人だけが儲かるような仕組みにする法改正が後を絶ちません。他方で国内の格差は広がる一方です。厳しい暮らしのなか将来への希望をもてないのは自分のせい、とする自己責任論でなく、個人の問題を社会の問題ととらえて、解決策を見出していかななくてはなりません。一人ひとりの生活者に視線を向けた政治が必要です。



本会議討論

ちなみにアクセス!

f chinami.nishimura f official.nishimura.chinami t chinami_niigata

西村ちなみチャレンジサイト 検索 http://www.chinami.net/

国会での取り組み (第195~199国会)



西村ちなみは
走り続けます!



議員立法提出

●議員立法提出 法案15本

(保育土処遇改善法案、公文書等管理適正化法案、LGBT差別解消法案、旧優生保護法に基づく優生手術等一時金支給法案、セクハラ・パワハラ防止法案など)うち6本が筆頭提出者

●質問主意書4本

(国民皆保険制度を維持するための高齢者医療制度の見直しの必要性に関する質問主意書)(児童扶養手当と障害年金の併給等に関する質問主意書)など4本を提出



提出法案への答弁



厚労委員会での質問



厚労委員会理事懇談会

●委員会質問33回

(うち2回は参議院での答弁、1回は提出法案趣旨説明)、本会議登壇2回(うち1回は提出法案の趣旨説明と答弁)



法案提出後の記者会見

今なお残る差別に国会議員として行動



旧優生保護法超党派議連記者会見

旧優生保護法は1948年から半世紀近く、障害をもっていること等を理由に、生殖機能を奪う手術等を行う根拠法となってきました。この間、手術等を受けた人は分かっているだけで約2万5

千人と推定されています。超党派議員連盟で優生手術等を受けた方々への対応を検討するなか、私が法案作成プロジェクトチーム座長として法案を取りまとめ、法を制定した立法院と法を執行してきた行政府からお詫びと反省の意を表し一時金を支給するという内容で与党ワーキングチームとのすり合わせを行って、全会一致で成立させました。